



総合計画市民ワークショップ 報告書



喜多方市

目的

本市の長期的な施策の指針として平成19年に策定された喜多方市総合計画が、平成28年度をもって終期を迎えることから、新たな総合計画の策定にあたり、市民のニーズや意見を広く反映するため本ワークショップを開催します。

概要

- 開催期間：平成28年6月12日から8月7日まで（全5回開催）
- 場 所：喜多方市役所、喜多方市保健センター
- 対 象：高校生以上の市民
- 参加人数：第1回 14名
第2回 14名
第3回 8名
第4回 17名
第5回 10名



総合計画市民ワークショップ

喜多方市のまちづくりに参加しませんか？

参加者募集！！

現在の総合計画が平成28年度で終期を迎えるため、市では、新たな総合計画（計画期間：平成29年度からの10年間）の策定に取り組んでいます。

総合計画は、まちづくりの中長期的な指針として、まちづくりの基本目標や将来都市像、政策・施策の基本的な方向性を示す最も重要な計画であり、市政にとって確かなものとなるべきです。

計画の策定にあたり、市民の皆さんのニーズや意見を反映させるため、市民ワークショップを開催します。喜多方市の未来に関心があり、まちづくりに意欲のある方々の積極的な参加を期待しています。

参加者が対話や意見交換を行う場・機会のことです。今回は、参加者の皆さんがグループに分かれ、テーマについて意見を話し合い、その意見を整理しながら、市のまちづくりの課題や方向性などを検討していただきます。進行役のもと、自由な発言の中で話し合いをします。

募集内容

開催日程	日時・場所	テーマ（予定）
第1回	6月12日（日）9:00～12:00 市役所大会議室（ホール棟2階）	ワークショップについてのオリエンテーション、自己紹介を兼ねた懇親交流
第2回	6月26日（日）9:30～12:00 市役所保健センター1階	グループワーク「まちづくりを語る会」
第3回	7月10日（日）9:30～12:00 市役所大会議室（ホール棟2階）	各テーマ（教育、子育て、産業など）ごとに、市の将来像、課題や課題解決の取り組みについて話し合います。
第4回	7月24日（日）9:30～12:00 市役所大会議室（ホール棟2階）	グループワークの発表、意見の取りまとめ
第5回	8月7日（日）9:30～12:00 市役所大会議室（ホール棟2階）	グループワークの発表、意見の取りまとめ

※参加人数等により、内容・開催時間が変更となる場合がございます。

- 対 象 高校生以上の市民
- 参加人数 各テーマが好んで、まちづくりに関心がある方 30名程度
- 応募方法 任意の用紙に、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業（学校名）を明記のうえ、持参、郵送、ファックス、電子メールにより、下記までにご応募ください。電話での応募も受け付けます。

<問い合わせ・応募先>

〒066-8601 喜多方市宇都宮清水東 7244-2
喜多方市役所 企画調整課 政策調整室
電話：24-5207 FAX：25-7073 電子メール：kikaku@city.kitakata.fukushima.jp

＜ワークショップ参加募集チラシ＞

第1回総合計画市民ワークショップ

- 日 時：平成28年6月12日（日）
9：00～12：00（8：45～受付）
- 場 所：喜多方市役所 大会議室
- 参加者数：14名
- グループ：3グループ（5人グループ×2、4人グループ×1）
- テーマ：誰もが活躍し協力し合えるまちとはどんなまちですか？

＜地域社会づくり＞

- ・地域コミュニティ・男女共同参画
- ・地域間交流



第1回ワークショップでの主な意見

- 地域コミュニティを維持するには、同居できる環境を作るための補助制度や、地域コミュニティの範囲拡大や移住者の受入による地域コミュニティの再構築が必要
- 男女共同参画を推進するには、女性が働きやすい環境や子育てしやすい環境の整備を進めることが必要
- 地域間交流は、他市町村との交流だけでなく、各地域のイベントを集約して大型イベントとするなど市民が交流する場をつくり、市内の各地域の交流も推進する必要がある



第2回 総合計画市民ワークショップ

- 日 時：平成28年6月26日（日）
9：30～12：00（9：15～受付）
- 場 所：喜多方市保健センター
- 参加者数：14名
- グループ：3グループ（5人グループ×2、4人グループ×1）
- テーマ：活気あるまちとはどんなまちですか？
＜産業づくり＞
・農林業・商工業・観光・その他（新産業、雇用）

第2回ワークショップでの主な意見

- 農業の担い手不足には、組織改善や企業との連携とともに、女性の参入や収入の増加が期待できる仕組みがあればよい
- 農業だけでなく、樹木資源のエネルギー産業への活用や、木材のブランド化によって林業の活性化も必要
- 企業誘致で雇用を増やす
- 担い手不足や商店街の衰退には、行政、商店、企業等が共通認識をもって取り組む必要がある
- 商店街をより魅力的にするため、蔵やレトロなまちにより磨きをかける
- 職業体験などで学生時代から商店街と関わりをもち、市民も街並みを好きになることで、まちづくりに参加できるようにする
- 観光客の滞在時間を長くするため、宿泊を伴う企画をつくるとよい
- 観光客や外国人観光客の増加のため、人気のあるイベントに併せて魅力をPRしたり、外国人向け観光案内を充実させるとよい
- 地域資源の活用のため、観光ルートの紹介や観光マップによるPRが必要



第3回 総合計画市民ワークショップ

- 日 時：平成28年7月10日（日）
9：30～12：00（9：15～受付）
- 場 所：喜多方市保健センター
- 参加者数：8名
- グループ：2グループ（5人グループ×1、3人グループ×1）
- テーマ：住みやすいまちとはどんなまちですか？
＜ふるさとづくり＞
 - ・生活環境・人と自然に配慮した環境・循環型社会

第3回ワークショップでの主な意見

- JR、バス、デマンドの利用が少ないので、利用者のニーズに合わせた運営が必要
- 道路の修繕は、必要性を確認し、道路改修マップで年度ごとの計画を説明してほしい
- 郡山からのアクセス改善には、会津新幹線や自動運転など新たな技術に期待したい
- 熊などの獣害対策としては、猟友会の強化と林業の活性化による里山の整備により野生動物との距離をつくる必要がある
- 林業の活性化と併せてペレット等再生可能エネルギーに取り組むことで里山の整備が進み、獣害対策にもつながる
- 生ごみの堆肥化や太陽光など新エネルギーの普及、薪・ペレットの利用促進など、行政が先導して循環型社会の形成をしていくことが必要



7月10日 Aグループ	現 状	理 想	自分たち行政に できること
生活環境	生活環境に関する現状の課題や問題点をまとめたメモ。	生活環境に関する理想や目標をまとめたメモ。	生活環境に関する行政が取り組める施策や取り組みをまとめたメモ。
人と自然に 配慮した 環境	人と自然に配慮した環境に関する現状の課題や問題点をまとめたメモ。	人と自然に配慮した環境に関する理想や目標をまとめたメモ。	人と自然に配慮した環境に関する行政が取り組める施策や取り組みをまとめたメモ。
循環型社会	循環型社会に関する現状の課題や問題点をまとめたメモ。	循環型社会に関する理想や目標をまとめたメモ。	循環型社会に関する行政が取り組める施策や取り組みをまとめたメモ。

第4回 総合計画市民ワークショップ

□ 日 時：平成28年7月24日（日）

9：30～12：00（9：15～受付）

□ 場 所：喜多方市保健センター

□ 参加者数：17名

□ グループ：3グループ（6人グループ×2、5人グループ×1）

□ テーマ：安心して住み続けられるまちとはどんなまちですか？

<くらしづくり>

・保健・医療体制・介護・福祉・防犯・防災・交通安全

第4回ワークショップでの主な意見

○病院がない地区へのAEDの設置や訪問診療などによる地域医療の充実が必要

○がん検診への関心を高めるため、呼びかけや告知方法の工夫をし、平日以外も受診できるようにする

○不妊治療の継続的補助や、産婦人科の整備など子育て環境の充実が必要

○高齢者の日々の見守りや社会との交流がもてる仕組みづくりが必要

○旧町村ごとの介護施設の設置や、介護施設と医療・保育施設の併設があるとよい

○空き家の不審火や倒壊の危険があるので、再利用や廃墟の撤去を進める必要がある

○防犯防災には、普段からの目配りやあいさつなど地域のつながりを強めることが有効

○高齢世帯の雪かきは、中学生などが雪かきボランティアに取り組みれば地域コミュニティの形成にもつながる

○道路の危険個所の情報を、市民と行政が共有できる仕組みがあればよい

○通学路を中心とした歩道の整備が必要



第5回 総合計画市民ワークショップ

- 日 時：平成28年8月7日（日）
9：30～12：00（9：15～受付）
- 場 所：喜多方市保健センター
- 参加者数：8名
- グループ：2グループ（5人グループ×1、3人グループ×1）
- テーマ：心が豊かになるまち・こどもがすくすく育つまちとは
どんなまちですか？
<ひとづくり>
 - ・生涯学習(文化・スポーツ含む)・学校教育
 - ・子育て・青少年の健全育成



第5回ワークショップでの主な意見

- 地区に図書館がないので、公民館などを利用し自習室としての機能も併せてあればよい
- 若い人や子育て世代が集まらないので、ホール棟や図書館のサービスを充実させ、仲間づくりやコミュニケーションの場をつくる
- 学力向上のため、テレビ会議等の少人数学校のメリットを生かす方法が必要
- 古墳などの遺跡を教育や生涯学習に生かす
- 子供の減少には子育て世帯のための市営住宅の整備やグリーンツーリズムを婚活に取り入れるなど結婚を後押しする企画があればよい
- 少子化によるコミュニケーション能力の低下が危惧されるので、多機能でコミュニケーションもとれる施設やファミリーサポートの充実が必要
- 子供の遊び場が少ないので、大きな公園や水遊びができる場所が必要
- 情報源となるママ友を作れない人もいるので、子育てサイトや体験学習のような企画があればよい
- インターネットやゲームにより子供のコミュニケーション能力が低下しているので、子供が外で安心して子供社会を作れる地域づくりが必要

	現 状	理 想	自分たちで できること
生涯学習 (文化・スポーツ含む)	...	...	...
学校教育	...	...	...
子 育 て	...	...	...
青少年の 健全育成	...	...	...